

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2021年3月4日

事業所名:多機能型児童発達支援ルーム あすたむ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			1グループ4名までの受け入れに対して、119.13㎡の療育室・相談室を当てている	96	4				
	2 職員の適切な配置	○			1グループ最大4名で行い、1対1で関わられるよう人員を配置している。	89	7			いつもマンツーマン以上の人数で対応してくださり、ありがたいです。配置の決まりとしては適切かと思いますが、一人一人を見切れていない様子も伺えます。	職員一人一人が、児の行動の予測が付き周りに気を配れるよう、話し合いや研修の機会を設けます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	○			屋内外玄関スロープ、文字とイラストによる表示、クッション性の高いフロアにて対応している。また、コロナ対策とし、手洗い手順のイラスト説明の表示を増やしている。	85	4	4	7	途中から一人一人椅子が出来て良かったのですが、全て同じ物なので、その日その子が座る印があればいいと思います。	待つ場所で使用する物や待ち方を再度検討します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			1セッション毎の機器や器具の消毒、定期的なクッションカバーの交換洗濯、間接照明、温度湿度や換気への配慮を行っている。	96	4				
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			シフト勤務や非常勤勤務者の増加により、ケースカンファレンスや部内研修の開催方法を随時検討中である。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○			相談支援専門員や保護者の評価や意見要望は受けているが、正式な第三者評価員は決定していない						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			今年度はコロナの影響により研修参加機会が少なくなっている。情報のチェックをまめに行い、必要な研修に参加出来るよう努める。						
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			児の様子を観察し、保護者の思いも組みながら個別支援計画や特別支援計画を作成、保護者に説明し同意を得ている。	85	11	4		一か月に一回あった支援計画の見直しがないので分からない。	個別支援計画の見直し時期について、分かりやすく説明を行います。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			個々の支援計画をもとに、小集団での活動や個別課題への取り組みを行っている。	81	7	4	7		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
提供	3	○			目的別で1グループ4名までの小集団にて、対人スキルや社会性を、1対1の個別活動で対象児独自の支援を行っている。	/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○			個別支援計画をもとに、職員それぞれの専門性を活かし、支援を行っている。	85	11	4		
	5	チーム全体での活動プログラムの立案		○		その日のリーダーとなる職員が療育計画を立案、朝のミーティングにて他職員と協議し適宜変更を行う。					
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			保育士や児童指導員、各療法士がリーダーを取り、児に合わせた各々の考えた活動を提供し、毎度同じ内容にならないよう心掛けている。	74	11	4	11	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援			○	1グループ1時間(児童発達支援の午前枠は1.5時間)制の固定プログラムであり、曜日や休暇では特段分けていない。					
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			療育計画をもとに毎朝療育開始前にミーティングを行っている。					
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			リーダーが療育計画に療育全体で気付いたことを記入し、各職員が個人の記録入力時に各々気付いたことや保護者からの情報の共有を行っている。					
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			個別支援計画に対応した記録入力システムを導入し、職員一人一人が対応した児の記録を入力している。					
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○			児童発達支援管理責任者が保護者の意見要望の聞き取り、児の担当者・療法士、管理者がモニタリングを確認し合い計画の見直しを行っている					
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			児童発達支援管理責任者と主任が主に参加しているが、保育所等訪問に関する事項の時には、その児の訪問担当職員が出席することもある。その場合、議事録を職員に開示し共有している。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
との連携	2										
	3										
関係機関との連携（続き）	4		○		保護者と協議や確認のうえ、就学や進級時には園や学校、相談支援専門員、保護者、他利用事業所とで情報提供や合同カンファレンスを行っている。						
	5	○			居宅訪問支援事業から通所支援事業所への移行の際、該当児の担当者が、相談支援専門員や移行先事業所の職員とカンファレンスを開催し情報提供を行っている。						
	6		○		センター主催の研修会があれば、積極的に参加している。						
	7			○	公的な他園・他校・児童クラブ等との交流は提供できていない。	30	4	19	48	必要と感じていない。希望があれば可能と聞いている。	・交流機会のある際には、文書等で知らせます。
	8			○	今年度はコロナの影響で地域行事の中止もあり、交流の機会はなかったが、今後地域行事があれば積極的に参加していきたい。						
保護者への	1		○		見学時や利用契約時に、運営規定、支援や活動の内容と個別対応内容を説明し同意を得ている。利用者負担については基本報酬や加算額を表にし、上限額説明と合わせて行い用紙を渡している。	96	4				

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
の説明責任・連携支援	2	○			個別支援計画および特別支援計画作成時に、児童発達支援管理責任者および療法士から保護者に説明し、同意捺印を得ている。変更要望があれば了承を得るまで再計画案を出している。	93	4	4			
	3		○		親子通所であるため、保護者の様子を見ながら、思いを聞いたり助言を行ったりしている。	44	19	11	22	今年はコロナのため仕方ないのですが。	感染防止対策を行いながらも、対話や相談の機会が設けられるよう努めます。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			来所時に保護者に声をかけ、児の状況や変化を聞き、成長したことや新たな課題などを話している。	63	11	7		こちらから変わりがあれば伝えるが、スタッフから様子を聞かれる事はない印象。	来所受け入れの際、その日の様子を聞くことを始め保護者とのこまめな対話に努めます。
	5	○			来所時間内や電話で、保護者の悩みや不安を傾聴し、事柄によって各専門職員へと繋ぎ、少しでも不安が解消できるよう心掛けている。	74	11	11	4		
	6		○		父母の会や保護者会はないが、研修会の開催案内、療育時に保護者同士で話ができるよう場所の提供を行っている。	15	15	30	37	必要性を感じていない。	職員と保護者で気軽に話の出来る場の設定を検討しています。
	7	○			苦情対応窓口を明確にし契約時に説明をしており、苦情等が出た際には真摯に対応し改善に活かすとともに、定期新聞やホームページにて公表する。	48	7		41		
	8	○			当該児や保護者が理解しやすい方法（絵や図、簡易な説明等）で伝達している	85	7	4	4	個別支援の最中に情報共有出来たらいいなと感じている。	時間を上手く使い、情報共有ができるよう努めます。
9	○			季刊発行の新聞にて活動内容や職員通信、提言などを発信している	70	7	4	19			

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
	10	○			個人記録は専用の書庫に収納するとともに、新聞掲載用写真や記事も個人が特定できないよう配慮し、見学者や視察がある際も児の保護者全員に確認了承を得ている。担当者会議や研修等に個別支援計画や現在の様子を使用する際には保護者の確認了承を得ている。	89		4	7	
非常時等の対応	1		○		コロナ感染拡大を受け感染症対策委員会の立ち上げ、また、グループ会社合同での防災研修を行った。マニュアルは療育室に、保護者にも手に取りやすいよう掲示してあるが、適宜声かけは必要。	74	11		15	
	2	○			消防署来所訓練を一度実施、事業所のみでの訓練の実施は計画中である。	26	15	7	48	
非常時等の対応（続き）	3	○			虐待防止研修へ参加。（コロナ対策のためオンライン研修）					
	4	○			やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載					
	5	—	—	—	食事やおやつ等の食品の提供はしておらず、水分補給の飲料物は持参してもらっているため非対応					
	6	○			報告書書式や報告事項の見直しなど、都度職員間で話し合いを行い改善し、事案が起こった際は迅速な報告をしている。					